

大型廃棄物保管庫の工程変更について (大型廃棄物保管庫設置に関する補足説明資料)

2022年12月19日



東京電力ホールディングス株式会社

1.大型廃棄物保管庫の進捗状況

- 2022年11月18日面談資料にて提示した大型廃棄物保管庫の設置に係る概略スケジュールは以下のとおり。なお、このスケジュールは中央棟のみの補強を想定したものである。
- クレーン設置開始時期は2023年度となる見込みであるが、クレーンの評価結果についての審査が継続しており、審査の見通しを得たうえで、製作、現地組立のプロセスを進める必要があるためである。
- 建屋については中央棟のみの補強で検討していたが、余震を考慮した場合に北棟、南棟の耐震裕度が不足する懸念があるため、全棟補強を検討中である。全棟補強を実施した場合は設置完了時期は2023年度より遅れる見込みとなるが、**遅延することによる影響（屋外保管施設の逼迫等）を緩和するために、例えば全棟補強を待たずに北棟を補強後に使用済吸着塔を保管するなど受け入れ時期の前倒しについても検討を行う。**



【参考】現場作業状況

■ 現地工事（工事進捗率：96%）

- 外壁工事 : 2021年1月27日～
- 外構工事 : 2022年7月25日～
- 内部床仕上工事 : 2022年9月7日～

【2022/11/10 撮影】



【現場状況：北面・西面】

【2022/11/10 撮影】



【現場状況：南面・東面】

【参考】 主要なコメントに対する今後のご説明予定

■ 構造材料の材料物性、断面特性、許容応力等について、強度評価対象となる全ての部材を整理すること。【2021/4/9】

⇒保管架台の設計変更方針（使用済吸着塔を固定するか否か）について**2022年12月**目途で回答予定。

■ 福島第一原子力発電所では、複数の吸着塔を使用していることから、それぞれの詳細な構造図等を示すとともに、そのうち 1 種類の強度評価をもって、他の種類の吸着塔の健全性を示す場合には、評価対象とする吸着塔の構造、評価部位、許容値等の代表性やその評価プロセスを説明すること。【2022/7/5】

⇒使用済吸着塔の詳細について**2022年12月**目途で回答予定。使用済吸着塔の強度評価については保管架台の設計変更方針と合わせて現在検討中。

■ 使用済吸着塔について、クレーンに吊した状態から落下した際の影響について説明すること。【2022/8/4】

⇒対応方針について**2022年12月**目途で回答予定。

■ 保管架台の耐震解析において、原子力発電所耐震設計技術指針（JEAG4601）や一般工学的な解析手法から変更している点（例えば、使用済吸着塔は静置するだけで固定しないので地震時の挙動が不明確であること、保管架台の耐震評価において、設計引張強さ（Su）を基準とした許容応力を設定していること、床応答加速度を使用済吸着塔と保管架台の衝突加速度に設定していること等）について、その適用性・妥当性及び変更理由を整理して説明すること。また、上記と並行して保管架台の設計上の対策も検討すること。【2022/11/8】

⇒保管架台の設計変更方針（使用済吸着塔を固定するか否か）について**2022年12月**目途で回答予定。

■ 使用済吸着塔について、使用済吸着塔の詳細な構造等を示すとともに、当該設備の耐震評価の内容を説明すること。【2022/11/8】

⇒使用済吸着塔の詳細について**2022年12月**目途で回答予定。使用済吸着塔の強度評価については保管架台の設計変更方針と合わせて現在検討中。